

有識者とのコミュニケーション

多様な働き方への取り組み

横浜ゴムでは、女性従業員全員と女性の部下を持つ管理職へのヒアリングを行いました。その結果、多様なキャリアの考え方や働き方へのニーズがあることを理解し、「多様な働き方を認め合い、キャリアを継続し長く働きやすい会社を目指す」という基本方針を設定し、施策立案をしてきました。今後は、女性だけではなく、多様な価値観をもつ、従業員一人一人が力を発揮するために活躍を支援するマネジメント力の強化や風土づくりを推進し、長く働きやすい会社を目指します。2018年度は、女性社員や管理職に向けて、「育児」「介護」「キャリア」を重点施策として、有識者を招き、各種セミナーを9回実施し、295名が参加しました。

また、全従業員約5,500名に対して、介護に関する現状を把握すべくアンケートを実施し、91%の回答を得ました。

介護に対する不安の声、制度理解などのさまざまなニーズがあることが把握できました。また、希望者へのヒアリングを通して、介護経験の実態や要望を直接聞き、課題をまとめました。

介護に直面する部下からの相談へのヒントとなる、介護離職の防止を目的とした「管理職向け介護セミナー」を実施しました。2019年には、育児・介護の相談窓口を設置します。

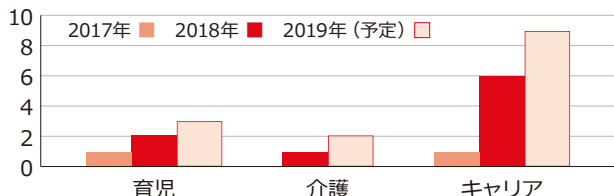
介護アンケート（抜粋）

- 今後5年以内に介護する可能性あり（60%）
- 介護することに不安を感じる（90%）
- 介護をしながら仕事を続けられない、または分からない（80%）
- 最多の不安内容は、「公的制度の仕組みが分からない」こと
- 最多の希望する働き方は、「仕事と介護を両立する」こと

外部有識者セミナーの開催

管理職に対し、従業員の意識改革や働き方改革に取り組まれているパク・スックチャ氏を招き、「アンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）セミナー」を実施。誰もが持つ無意識の偏見について学び、マネジメントおよびリスク管理を強化しました。また、元祖“イクボス”の講師 川島高之氏を招いて、「多様な部下育成力向上セミナー」を実施し、部下と効果的なコミュニケーションをとる重要性や、組織業績を高める強い組織づくりについて学びました。女性従業員へは、育児復帰者を対象に長期的な視点での両立やキャリアについて学ぶセミナーのほか、時代の変化を理解し幸せなキャリア・役割を見つける「女性のためのエンカレッジセミナー」や、健康で長く働くために「女性向け健康セミナー」を開催し、モチベーションの向上を図りました。

多様な働き方セミナー（実施回数）



実施したセミナー（）内は対象従業員

育児	• ワーキングマザー情報交流会（女性） • 育児復帰者セミナー（育児両立）
介護	• 管理職向け介護セミナー 2回（管理職）
キャリア	• アンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）セミナー（管理職） • 多様な部下育成力向上セミナー（管理職） • 女性のためのエンカレッジセミナー（女性） • 女性向け健康セミナー（更年期・子宮系）各1回（女性）



多様な部下育成力向上セミナー

パク・スックチャ氏による海外拠点視察

ヨコハマタイヤベトナムは、創立13年目を迎え、全従業員612名の中で社長を含めた日本人は6名。管理職の多くをローカルスタッフが担っています。生産現場の大多数を男性が占め、女性比率は13%ですが、管理職に占める女性の割合は22%。部長職の40%は女性であり、指導的地位を担う女性は目覚ましい活躍をしています。毎月一回経営層と組合員が参

加する会合を開き、作業安全や職場環境に対する意見、要望や苦情を聞き、健全な関係を維持しており、パク氏からは職場改善のため継続的な実施を期待されました。



現場視察の様子